

夢二がえがく

# 動物ワンダーランド

大正ロマンのイラスト&デザインを中心に



少女と動物双六(部分) 1925年

## 2024年4月6日(土) ▶▶▶ 6月30日(日)

担当学芸員による  
ギャラリートーク

4/13(土)・5/12(日)・6/8(土)  
午後2時より



動物は、生活の上で人間と様々な関わりを持ちながら、美術の分野においても数多く題材となり、幅広い表現が展開されています。

大正ロマンの画家・竹久夢二(1884-1934)は小動物を飼育し、また動物園にも足を運んで、動物に関心を寄せていました。夢二が描く女性絵や童画は、犬・猫をはじめとする動物が人に寄り添い、さらに書籍装幀やすごろくでは、遊び心を加えて動物の姿を図案化しました。

本展では、夢二が描き表した鳥・虫・魚類を含む生き物に着目し、ユニークで個性的な動物表現を紹介します。



晩春(部分) 1926年

### 竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-2

TEL 03(5689)0462

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

開館時間 午前10時～午後5時(最終入館 午後4時半まで)

休館日 月曜日・5月7日(火) ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月)開館

入館料 一般1000円/大・高生900円/中・小生500円

※弥生美術館と2館併せてご覧いただけます